



あいら

本報

町の人口動態
(9月30日現在)

世帯数	9,767戸 (+56戸)	
人 男	14,114人 (+103人)	
人 女	15,689人 (+46人)	
口 計	29,803人 (+149人)	
9月の	出生	31人
	死亡	10人
	転入	214人
	転出	139人

発行所 鹿児島県始良郡始良町役場
 発行者 岩根清春 編者 梅木逸郎

(印刷所)
 キング堂印刷



読み終ったら故郷を離れている家族や知人に送りましたよう

(帖佐中運動会)

きらきら照りつける暑い日射しが遠ざかり、朝・夕がめつきり肌寒く感じる季節
 読書・食欲・ピクニックに最適な秋
 学校・部落・地区でスポーツに励む秋
 また、田・畑での農作物の実りの秋でもあります。

32億円を一般

歳入

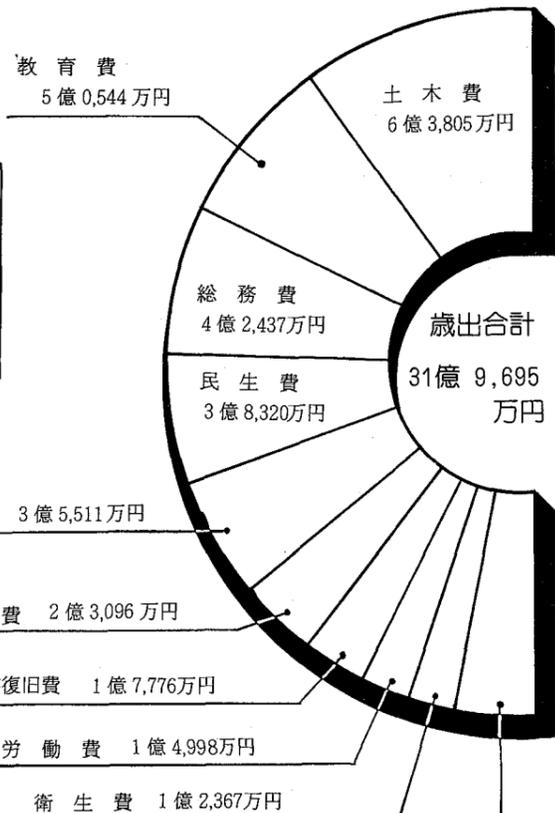
歳入決算額の状況は、依然として地方交付税の比率が最も高く三〇・二パーセントを示し、三割自治を固持しています。

次いで、町税の一九・一パーセントの六億二千三百七十一万円、町債の一六・三パーセントの五億三千二百二十万円と続き国庫支出金は一六・〇パーセントで五億二千八百八十万円、歳入合計で三十二億六千二百二十五万円の決算金額でした。

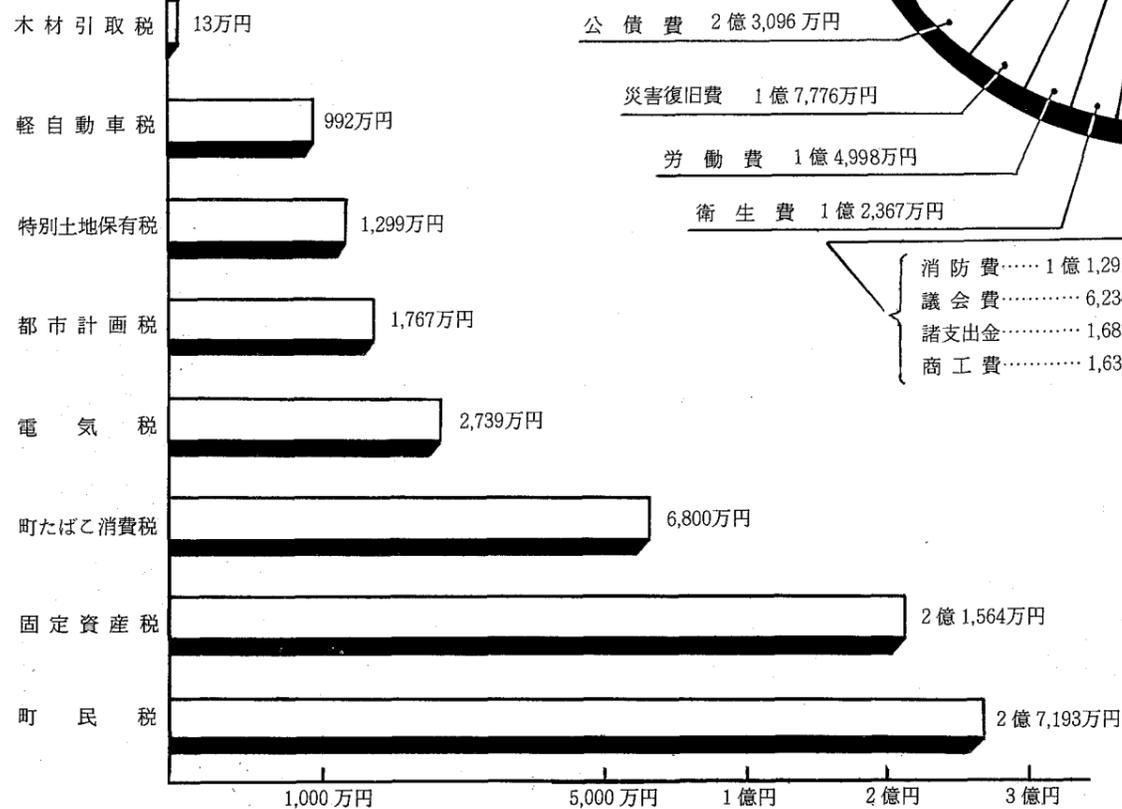
歳出

歳出においては、性質別にみますと、投資的経費の普通建設費・災害復旧費・失業対策費が歳出合計の四二・四パーセントで十三億五千五百六十一万円を占め、次いで人件費の七億九千二百二十四円があります。

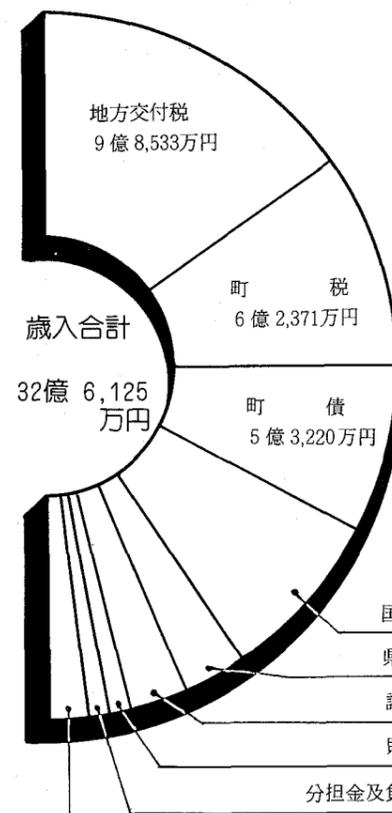
目的別にみますと、土木費がトップで六億三千八百五十万円、次いで教育費・総務費・民生費・農林水産業費と続き、歳出合計の七二・二パーセントとなり、上位にランクされています。



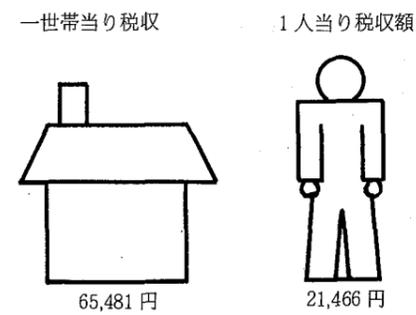
町税の割合



この町の財政会計



- 地方譲与税..... 4,012万円
- 使用料及手数料..... 2,962万円
- 自動車取得税交付金..... 2,274万円
- 繰越金..... 2,084万円
- 交通安全対策特別交付金..... 293万円
- 寄付金..... 236万円



昭和52年度の一般会計決算金額は、歳入総額で三十二億六千二百二十五万円、歳出総額三十一億九千六百九十四万円で、昭和51年度に對し、歳入で二・二・六パーセント歳出で二・一・一パーセントの伸長率でありました。

昭和53年度に一千六百六十六万円

の財源を繰越し、五千二百六十五万円の実質収支となりました。

特別会計の国民健康保険事業助成金は、国保加入者のみなさんが納められる保険税と国庫支出金で歳入総額七億六千三百三十三万円の九七パーセントを占め、歳出総額七億一千九百八十三万円の九十五パーセントが保険給付金として、国保加入者が病院に治療費として支払う三割の残りの七割分を町が病院に支払っている現況です。

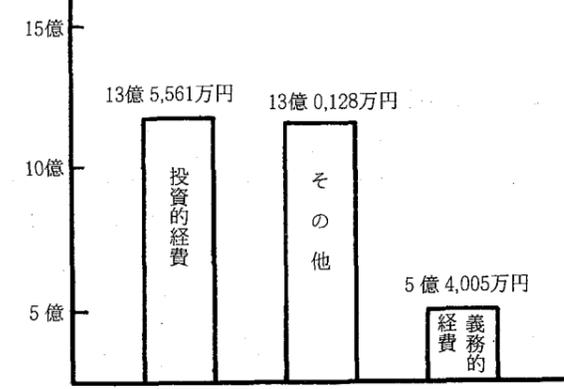
水道事業会計では、事業収益が昭和51年度より一七・七パーセント増の一億六千四百七十七万円、費用において一四・九パーセント増の一億二千六百八十八万円を差引三千八百七十九万円の黒字となりました。

あらまし

昭和52年度の一般会計・国民健康保険・水道事業の各決算書が、昭和53年第三回町議会定例会で認定されました。

町民のみなさんに、昭和52年度の決算状況を公表し、町の予算がどのように使われているかを明確にし、今後の町の財政運営のめやすとして活用していただき、各事業推進へのご協力を求めるものです。

歳出（性質別歳出状況）





子どもたちは 訴える



昨年を上回る事故

一家に一台は通勤用、一台は農作業用と言うように一家に二台自動車がある家庭が年毎に増えていきます。

このように増えていく車の量と事故発生件数は年次的に増加の傾向を示しています。

昨年の町内の交通事故は八〇件発生し、死者二人・負傷者一一二人でありましたが、今年八月末までに既に八五件発生し、死者〇・負傷者一四〇人と、死者こそありませんが、大幅に負傷者が増加して

「子どもと老人の交通事故をなくしよう」と秋の全国交通安全運動が九月二十一日から展開されました。

町でも、この運動を実施し早朝から交通事故防止を呼びかけていました。

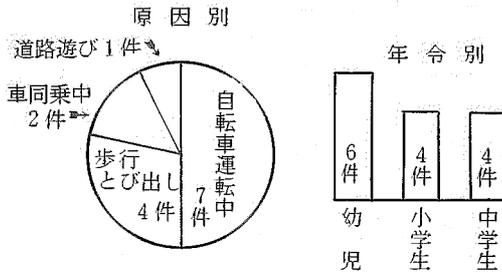
九月二十六日町公民館では、町内の小学校（六校）生徒・中学校（二校）生徒代表一七人・交通指導に当たっておられる先生達と加治木警察署長・始良地区交通安全協会会長・国道事務所・県土木事務所及び町関係職員との対話集会が行われ、小学生・中学生から交通安全に対する鋭い意見が活発に交換されました。

この会議が始まる前に、加治木警察署のパトロールカーを先導に出発者全員がマイクワッパ二台で町内の交通状況を視察しました。

会議では、町長が座長となり各学校で集約された交通安全について次々と発表が行われました。

発表された内容は、各学校とも地域に応じた「交通安全対策」であり、そのことに真剣に取り組んでいる様子があがられました。

子どもの事故状況（1月～8月）

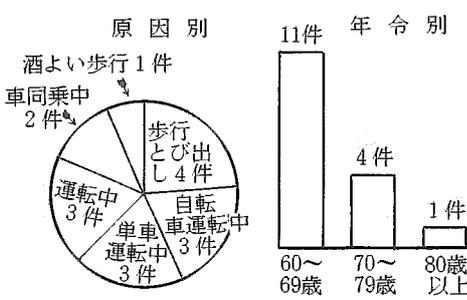


います。

秋の全国交通安全運動のスローガンである「子どもと老人を守る運動」の子どもと老人の事故が昨年に比べてすでに約二倍にもなっています。

事故の原因別では、運転者のちょっとした不注意で起こる「わき見運転」が三十一件・信号機のない交差点での「安全通行違反」が十八件・「追越」とび出し・スリッ

老人の事故状況（1月～8月）



「ブ等」が二十七件で上位を占めています。

また、事故の類型別では車両相互が最も多く、車と人、車と自転車、車と単車の順となっています。

子ども・老人の原因別事故状況は、子どもの場合自転車運転中、老人の場合歩行中とび出しが最も多く、正しい自転車の乗りかたや自動車に対する歩行での十分な配慮が必要とされます。

学習効果を生かして

各学校では、自主的に地域に合った交通安全対策を、これまで何回となく進めてきました。

通学時の登・下校での対策、校外学習での対策、校内での対策など交通安全対策は常に重点項目として朝夕学習しています。

しかし、一歩学校を離れると学校で学習した効果は……。

学校での正しい自転車の乗りかた、横断歩道の渡りかた、リーダー

1の指示による登・下校、部落単位の集団登・下校など危険度の少ないスクールゾーンを通り安全に登・下校を行っています。

しかし、一部の不心得な無謀運転手により悲しい大惨事を引き起こしています。

車を運転されるみなさん「私たちが一生懸命学習した効果を大事に守ってください」と生徒たちは訴えています。

学校でいろいろな対策が講ぜられ父兄と関係機関が綿密な連携をとり、ひとりの交通事故者も出ないように願っていききたいものです。

正しい

運転マナー

学校で交通ルールを、身につけた生徒たちは、運転者のマナーをどのように考えているかについて一部紹介しましょう。

登・下校の際、時間規制されているスクールゾーンへの通行、車一台やっと通る路地へ平気で車を乗り入れる、駐車禁止の標識にもかかわらず道路を車庫がわりにして、青空駐車をしている、学校近くで生徒が沢山いても徐行運転しない、正規の車道がありながら農道を利用し、信号待ちをさせている。このように率直な意見が次々と発言され、生徒たちが運転者に向けている目は非常に厳しいものがありました。

運転者のみなさん、生徒たちの訴える言葉をお互いに反省し、正しい運転マナーで交通安全に務めてください。

毎日が 交通安全の日

秋の交通安全旬間を問わず、毎日毎日が交通安全の日です。

自分ひとりぐらゐの行動が大惨事を起こす原因ともなります。

車を運転する人、道路につけ、自分が正しい交通マナーを身につけて、自分ひとりのことだけでなく家族も混えて交通安全に対する話し合いの場を広げ交通事故のない明るい町づくりを推進しましょう。

夜空を色どる花火 四万人の人出でにぎわう



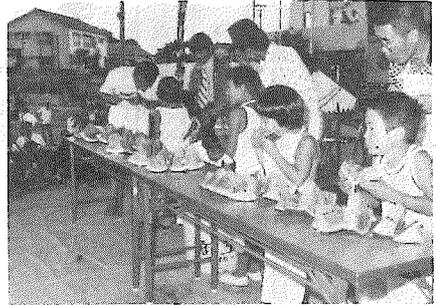
町長も一緒に

夏の祭典である恒例の始良町夏まつりが炎天下の七月二十二日午後四時、婦人会・舞踊同好会・農協・銀行・役場青年部等の街頭おどりで開会されました。夏まつりを盛り上げるミコシも町内のスポーツ少年団員の威勢よい、「ワッショイ・ワッショイ」のかけ声にのって暑中の空を突き上げていきました。



歌謡ショーでのひとコマ

手さばきも軽く陽気に踊る男衆・女衆：街頭の人だかりの中から踊りだす老人たち：まちは踊り一色にぬりつぶされました。また、町公民館広場では特設の舞台が作られ国分自衛隊ブラスバンドによる演奏会・子ども向き手品・スイカの早喰い競争が催されました。素人のど自慢大会が始まる頃は、昼間の暑さもやわらぎ四基のナイター用照明灯にもスイッチが入れられ、あわい紫色のカクテル光線の中で自慢のどを披露し合っていました。

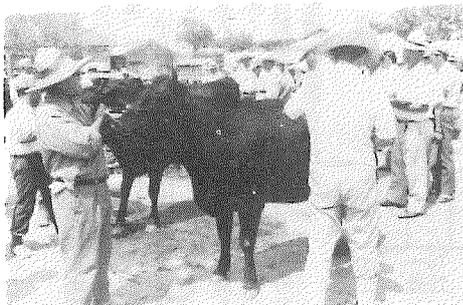


(多 彩 な 催 し)

家畜改良に期待

町内出産牛も上位入賞

八月十九日猛暑の中、西部森林組合隣の広場では、牛・豚の畜産品評会が行われました。今年度出品された頭数は、肉用牛三六頭・肥育牛一七頭・種豚六頭の合計五九頭でありました。出品された牛・豚は地区の予選を経てきたもので優秀のつけがたいものばかりでした。全出品中一八頭が優等賞に選ばれましたが、優等賞から二等賞までの格差がなく畜産農家の意欲の表れと、日頃の飼養管理が徹底したためと思われまふ。町内で産れた家畜が晴れの舞台に数多く出品され、上位入賞したことは、今後町の家畜改良に大きな期待が持てることでしょう。団体成績・個人(優等賞入賞)成績は次のとおりでした。



審査員も汗だくだくの品評会風景

- 肉用牛の部 北山下地区
- 肥育牛の部 帖 佐地区
- 種 豚の部 三 又地区
- 個人の部(優等賞入賞のみ)
- 印は郡共進会へ出品
- 敬省略、() は部落名
- 肉用牛一部
- 西 繁盛(黒瀬北) 七ツ谷秀光(山元)
- 肉用牛二部
- 小坂一雄(中川原) ○馬場昇(石ヶ迫)
- 肉用牛三部
- 阿部国義(山花) ○大迫静(瀬戸段) 鍋倉初(寺師)
- 肉用牛四部
- 山ノ内清徳(馬場) 小宮路稔(中川原) 田中恵(木津志)
- 肥育牛一部
- 竹中重盛(岩崎)
- 肥育牛二部
- 竹中重盛(岩崎) 所有の肥育牛が三頭入賞
- 種 豚(パークシャール)
- 柳迫光弘(中津野) 所有の種豚が三頭入賞うち二頭が郡共進会出品種豚
- 種 豚(ランドレース)
- 鬼塚善信(寺師)

郡共進会で優等賞

柳迫さんの種豚

九月二十七日準人町で行われた郡畜産共進会で中津野部落の柳迫光弘さん所有の種豚(パークシャール)が、みごと優等賞に入賞しました。

水泳記録会新記録者名

学年	性別	種目	氏名	記録	学校名
全	男	200mメドレーリレー	大屋・染川	3分3秒4	建昌小
			有留・柏木		
5	女	50m 背泳	坂口・池田	3分13秒7	重富小
			肥後・長野		
6	男	50m 背泳	原田 直子	49秒1	建昌小
			大屋 良彦	46秒4	重富小
6	女	50m 背泳	坂口 二士	47秒5	建昌小
			柿元 浩三	47秒6	重富小
6	男	100m個人メドレー	出口 留美	49秒2	重富小
			出口 由美	49秒4	建昌小
6	男	50m バタフライ	大屋 良彦	1分42秒1	重富小
			有留憲一郎	51秒0	建昌小
4	女	25m 自由	肥後 秀実	53秒2	建昌小
			中島 法男	19秒0	北山小
6	女	100mリレー	北野祐見子	19秒8	建昌小
			浜地真由美	20秒1	重富小
5	女	25m 背泳	陣之内・居福	1分10秒0	重富小
			安田・鎮寺		
6	男	25m 背泳	原田 直子	21秒1	重富小
			坂口 二士	21秒0	建昌小
6	女	25m 背泳	柿元 浩二	21秒1	重富小
			出口 留美	21秒7	建昌小
6	男	100m 自由	出口 由美	21秒9	重富小
			大屋 良彦	1分29秒3	建昌小
6	男	100m 平泳	染川 雄二	1分45秒2	重富小
			川田 亜紀	35秒2	建昌小
3	女	25m 平泳	岩下かすみ	26秒9	重富小
			出口 美和	27秒8	建昌小

新記録25個続出
219人が参加

七月二十六日建昌小学校プールでは、町内の六つの小学校が一同に集まり水泳の記録会がにぎやかに行われました。

新記録を目指し、次々と日に焼けた肌の選手たちはプールサイドからの声援にこたえ、力一杯泳いでいました。

この記録会に参加した選手は、男一一人・女一〇五人でした。年毎に選手の体格もよくなり、各種目の記録を短縮しています。今回の記録会では、二五の新記録がとび出し、関係者を喜ばせました。

新記録を出した選手は次のとおりでした。

町内の各部落で、子ども会活動が盛んになっていきます。

八月二十四日町公民館大ホールでは、元気な子どもたちの声が場内狭しと聞えていました。

子ども会会員及び育成者の参加を得て町子ども会大会が盛大に行われ、日頃の活動を発表したり、他の子ども会を研究し子ども会の親睦と友愛の輪を広げ子どもたちの共同の心を深める目的で活発に発表しあっていました。

町長・教育長の励ましのことばに続き、特別出演したママさんコーラスグループ(あいらマリーゴールド)の美しいハーモニーの歌声に合せハミングする子どもたちも見受けられました。

「あすをつくる若者たち」の映画が上映されると場内は静まりかえり、子ども会のリーダー育成の方法、話術等を勉強し、お互いに自分たちの子ども会を反省しあっていました。

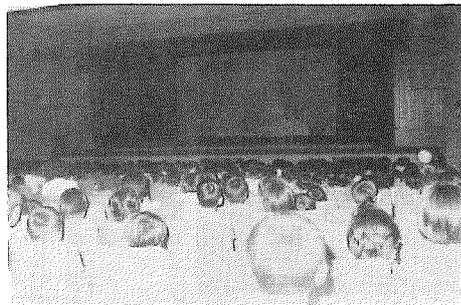
引き続き日頃練習していた芸能大会が開かれ一四の子ども会が、

日頃の腕前を披露

親睦をはかる子ども会大会

合唱・歌・舞踊・合奏など腕前を披露しました。

町内の子ども会がより一層充実し発展していくよう励ましました。



静かに映画鑑賞

公共事業の建設はじまる

昭和五十三年度の公共事業の中心である建設工事が次々と契約され、すでに工事着工を行っています。

工事着工をみているものは、次のとおりです。

重富地区公民館新築工事

総工費 三千六百二十五万円

工期 八月十九日～十一月十五日(一五〇日間)

面積 四二五平方

帖佐幼稚園新築工事

総工費 四千二百十万円

工期 九月十八日～二月十五日(一五一日間)

面積 三六六平方メートル

内容 園児室(二)・遊戯室・保育室・応接室・職員室・倉庫

風呂	ホール	6帖
便所		
玄関	台所	6帖
4.5帖		

メートル

内容 集会場・料理実習室・事務所

重富中学校体育館新築工事

総工費 一億三百七十三万円

工期 八月十九日～二月二十八日(一九四日間)

面積 一〇三六平方メートル

内容 バレーコート二面

町営住宅新築工事

場所 大字東餅田地内

総工費 九千六百九十八万円

工期 九月十八日～三月十日(二七四日間)

面積 一〇三七平方メートル

内容 四階建一棟 一六戸



老人を励ます町長

年々ふえる老人 地域・部落に役立つ老人に

「みんなで築こう豊かな老後」をスローガンに九月十五日から一週間福祉週間として、各部落では「敬老の日」を中心に長年にわたる世の中を築いてきたお年寄りを励ます行事が行われました。

町内に六十五歳以上の高齢者は総人口の約一二・四%を占め三、六六四人(男一、五〇人・女二、一五〇人)で年々ふえていく傾向にあります。

九十歳以上が四九人(男一五人・女三四人)でほとんどの老人が、家族と同居し暖かい環境で余生を過しておられます。

健康状態も良好で、大部分のものが自力で行動でき、適度の運動に精出しておられます。

「敬老の日」を前に県・町・婦人会等が一体となり敬老訪問を行い、老齢年金・記念品等を届け老人のかたがたが今まで築いてこられた世の中に感謝し、今後の指導をおおきながら一軒一軒巡回し老人たちを励げました。

また、九月十五日「敬老の日」に部落・婦人会がもてなした行事で町長は「常に後を振り向かないで、希望に燃えて明日をみながら前進してください。まだまだ老人のやるべき仕事が残っています。これから部落・地域に役立つ老人としていつまでも元気で活躍してください。」と一人ひとり手をとって激励し長年の労をねぎらいました。

集団里家 松原下老人クラブ

一人ぐらしの六十五歳以上の老人を対象に、日頃一人ぐらしの孤独感を少しでもやわらげようと、八月一日松原下公民館で、にぎやかに集団里家の行事が行われました。



婦人会の手料理に喜ぶ老人

この行事は、松原下老人クラブが主体となり婦人会の自主的な奉仕活動で今年初めて行われたものです。

松原下部落には、一人ぐらしの老人が三八人もあり、お互いに話し合いの場が少なく寂しい毎日を感じていました。

集団里家に招待された老人は、寝たきりの老人を除き、二一人(男三人・女一人)が参加し、準備された手料理を前にして、老人たちはとても喜んでいました。

これからは松原下婦人会では、当番制を定め孤独感に明け暮れている老人を訪ねて、少しでも労をねぎらってやりたいと意欲に燃えていました。

キジ三百羽を放鳥 重富地区の山林に

全国的に鳥獣保護及び狩猟に対する関心度は、著しく高まっています。

県では、毎年休猟区を設定し、各種の鳥を放鳥しながら鳥獣保護・増殖に努めています。

休猟区は、向こう三カ年間で放鳥した鳥は、保護された区域での増殖で数十倍にも増えつづけます。

休猟区解除とともに狩猟時期が到来し、ハンターを楽しませています。

今年度恰良町では、休猟区の手

定になつて重富地区の山林七カ所に郡及び町の猟友会の立合いのもとで元気な一二〇日令ビナのキジ三〇〇羽を放鳥しました。

県下においては、休猟区予定地に総数三四〇〇羽のキジを放鳥しました。また、今年度の狩猟期間は、十一月一日から翌年の二月十五日までと定められています。

町内に約三二〇人のハンターのなかたがたが登録されています。ハンターの一人ひとりが正しい狩猟秩序を守り、事故のない安全な狩猟に心掛けてほしいものです。



ヨチヨチ歩きの坊やも出場 黒ん坊大会

八月も半ばを過ぎ、子どもたちにとって長く楽しかった夏休みも終わりに近づいた八月二十日重富山野海水浴場では、黒ん坊大会・スイカ割り大会がにぎやかに行われました。

夏休みの間、真夏の太陽の下で体を黒くこがした元気な子どもたちがマイクで呼ぶ大会開催の合図と同時にずらりとならんで、自慢の焼け具合を競っていました。

出場した黒ん坊たちはヨチヨチ歩きの坊やから中学生までの男女で、遠くは東京から帰りした子ども、県内のいたる所から海水浴を楽しみに来た子どもたちも加わり見物人の中から「この子が黒いよ」「あの子が黒いよ」等の声援が飛び審査員たちをたどませる一コマも見受けられ入賞した八人の人たちは思いもよらない賞品に大喜びでした。

守られていますか…奥さま

生活が豊かになった反面、わたくしたちは「ごみ公害」という言葉を生み出しました。自分の身の回りを見わたしてみてください。守られていますか…奥さま

「ごみ公害」を生み出すものがあるのではないですか…この問題に真剣に取り組んでいるグループがあります。

このグループは、町公民館社会教育学級の生活学校です。

この学校では、自から率先して美しい環境づくりに専念しています。また、自分たちで数多くのデーターを持ちより研究検討を重ね実行に移しながら「ごみ公害」について各種機関と連携を保ち解決の道を開こうと努力しています。

こんなにお金がかかることを

みなさんが、一年間にどれだけのを「ごみ」「危険物」として出され処理されているか考えてみましょう。

昭和五十二年度に「ごみ・危険物」処理に使われた経費は四千九百三十七万円で二戸当たりの経費になおしますと約一万七百五十九円のお金がかかったこととなります。

では、これに用したお金は…約七割にあたるお金が、「ごみ・危険物」を出される家庭から納められる手数料であり、残り九割が町の一般会計予算で構成されています。こんなにお金がかかり住みよい環境づくりをなすために大切な多額の税金を灰にしています。

二戸に 一戸が不法処理

町内のじんかい処理方法は、汚物の多量に発生する順に「一等級から四等級までランクを設け、それぞれ処理手数料が異なっています。

じんかい収集範囲も二五部落の山間地に位置する八二二戸を除き下場全域に広がって対象戸数八七〇〇戸に相当します。処理手数料を納入している戸数が一等級から四等級まで四五八九戸であり二戸に

一戸が正規の手続をせず、不法処理を行ない「チリ」「ごみ」「危険物」の収集日に利用している状況です。お互いに町を美しくするために正規の手続きを取り少しでも町の税金の漏費をしないよう努めましょう。

区別して出そう

チリ・ごみ・危険物の大半を出す台所で、じんかいを区別し、決められた日に、決められた場所に袋の口をしっかりと結んで出しましょう。

燃えるごみ、燃えないごみを区別し、一日一世帯一〇〇kg減量することにより、一年間では一五〇kgの節約ができることとなります。じんかいの再利用・水切り等、お互いに十分気をつけたいものです。

よく泳げるよ 初心者水泳教室

小学校一年生から三年生の「カナヅチ」を対象に、夏休みに入つた七月二十二日から五日間建昌小学校プールで町教育委員会主催の初心者水泳教室が行われました。



教室生は、町内の小学校から参加した三十人でみんな水に馴れていないせいか、水に入ることさえこわがっていました。最初は、付添った親たちにしがっついていました。

したが、指導に当たった福重澄雄先生のもとで、水に顔をつける練習から始められ次第に体が浮くことを感じてからは、参加した子どもたちは自信をもち自由に行動しはじめ、お互いに水泳のコツを覚えて親の手を借りて練習がくり返えされました。

教室が終るころになると「カナヅチ」もいなくなり、親の手を離れ、上達した子どもは二五kgも泳げるようになり、付添った親たちも「今回の水泳教室に来てよかった。今年の夏は、家族づれで泳ぎにも出かけられます。」と喜んでいました。

生花・踊りで安全祈願 寺師部落

八月一日、寺師部落では部落公民館で一年間の部落民の安全祈願



踊りに熱中する部落民

に感謝し五穀豊じょうを祝い、部落民の融和を願って夜遅くまで老若男女が一緒になり祝っていました。

部落・婦人会・子ども会が毎年楽しみに待っている行事の一つで年を追うごとに盛大に行われています。

普段家庭にとじこもりがちの老齢者も、この日ばかりはユカタを着て孫の手を引き、お互いに持ち寄った「とうろう」を觀賞し楽しいひとときを過していました。部落公民館に準備されたスイカお菓子をはおぼしりながら会場に展示された生花や会場でのスイカ割り・芸能大会・参加者全員による手踊り等で昼間の熱さを吹き飛ばし夜の涼を楽しんでいました。

広報からの お知らせ



▽係では、よい広報紙を作るために、皆さんからのご意見ご要望をお待ちしています。▽また、自分の知っていることで、町民に知らせたい事などありましたら、お知らせください。



特攻碑建立

寄付金を

溝辺町では、十三塚原特攻碑建立委員会を設置し、上床公園内に特攻銅像及び銘碑の建立を計画しています。

昭和五十三年十二月を目途に募金運動を展開しております。

十三塚原は、旧軍航空隊の跡で第二次世界大戦中若き勇士達が祖国防衛のため、再び帰ることのない特攻基地として飛び立った所です。

祖国防衛のため若き勇士達が飛び立ったこの地に特攻碑を建立し勇士の御霊の冥福を祈ると共に、その偉勲を賛え世界永遠の平和を祈念しようとするものです。

特攻銅像及び銘碑の建立

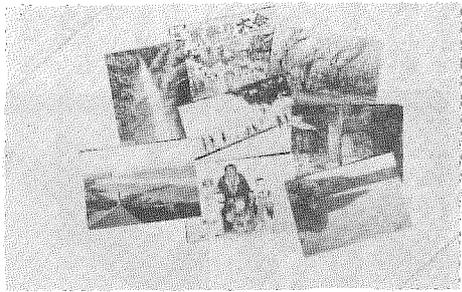
- ① 建立地 溝辺町上床公園内
- ② 銅像は、ブロンズ製・等身大で出撃時の服装
- ③ 銅像は、出撃した飛行場の方向
- ④ 銅像台座正面に「特別攻撃隊の碑」を刻み、副座に碑文。

募金の受付場所
①八九九一六四 始良郡溝辺町有川三四一番地 溝辺町役場十三塚原特攻碑建立委員会事務局

8枚1組の町観光絵ハガキ販売

町内の名所旧跡を町外の知人・友人等に紹介しましょう。

8枚1組 300円
名所旧跡 重富海水浴場・布引の滝・住吉池・帖佐人形・臥竜梅・凱施門・夏祭り・始良町から桜島を望む



販売所 町役場経済課・町公民館・町商工会・山中商店(重富駅前)あいら温泉(鍋倉)井上書店(帖佐駅前)松下書店(帖佐駅前)

溝辺郵便振替口座

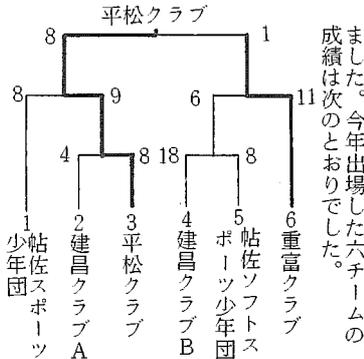
鹿兒島公一三九
溝辺農協口座 九九二六九〇
鹿兒島銀行
鹿兒島空港支店 一二、一五七

炎天下白球を追う

平松クラブ優勝

少年野球大会が、八月二十七日炎天下の中、町公民館グラウンドで行われました。

小学校四年生から六年生までの元気な少年たちは、グラウンド狭しと汗を流して白球を追い元気が掛けた大会は、子どもたちの健全な生長と正しい野球・マナーを勉強するために今年から町の教育委員会が主催となり始められたものです。少年たちは、日頃練習を重ねてきた白熱するプレーが続き、つめかかけた観客の応援を背にうけて元気にプレーをしてい



ました。今年出場した六チームの成績は次のとおりでした。

ご芳志による寄付金は、すべて溝辺町の予算に計上し特攻碑建立事業に支出されます。趣意ご賛同のうえ寄付金を賜りますようお願い申し上げます。

スポーツ短信

各種主催のスポーツ大会で昼夜をとわず熱戦がくりひろげられました。紙面の都合で全試合の成績を掲載できませんことをご了承ください。

() は実施日、実施場所、出場チーム数の順です。

- 体協バレーボール大会 (7月9日 勤労者体育センター)
- 男子の部 (一二チーム)
- 優勝 再会チーム
- 準優勝 帖佐米山チーム
- 三位 SSCチーム

- 始良町役場チーム
- 女子の部 (五チーム)
- 優勝 FLCチーム
- 準優勝 建昌クラブチーム
- 親子バレーボール大会 (8月6日 勤労者体育センター)
- 一二チーム)
- 優勝 白金原チーム
- 準優勝 東原チーム
- 三位 岩崎チーム

- 上場チーム
- 壮年ソフトボール大会 (9月3日 町公民館グラウンド)
- 一二チーム)
- 優勝 松原チーム
- 準優勝 重富団地チーム
- 三位 依原団地チーム
- 米山球友チーム
- 子ども会ソフトボール大会 (9月10日 町公民館グラウンド)
- 小学生の部 (一六チーム)
- 優勝 白金原Aチーム
- 準優勝 楠元団地チーム
- 三位 松原上チーム
- 重富団地Bチーム

小・中学生合同の部

- (一二三チーム)
- 優勝 松原上チーム
- 準優勝 白金原チーム
- 三位 鶴田チーム
- 堅野チーム
- 体協剣道大会 (8月4日 帖佐中)
- 小学生の部 (二三チーム)
- 優勝 三船Cチーム
- 準優勝 重富Aチーム
- 三位 帖佐Bチーム
- 建昌Aチーム

- 中学生の部 (一一チーム)
- 優勝 北山Dチーム
- 準優勝 帖佐Aチーム
- 卓球大会 (7月16日 勤労者体育センター)
- 団体の部
- 一般男子 (八チーム)
- 優勝 始卓会チーム
- 準優勝 始良西部消防組合チーム
- 一般女子 (四チーム)
- 優勝 堂山チーム
- 準優勝 重富チーム
- 個人の部
- 一般男子 (一一人)
- 優勝 内村明人
- 準優勝 宮原俊一
- 30歳以上男子 (二四人)
- 優勝 摺木保男
- 準優勝 白坂宏一
- 一般女子 (一六人)
- 優勝 岩下美智
- 準優勝 柿元千代子
- 町民ゲートボール大会 (9月24日 老人福祉センター)
- 二五チーム)
- 優勝 思川東Bチーム
- 準優勝 芳寿会Aチーム
- 三位 触田Aチーム